



協会ニュース

第28号

平成21年1月30日発行

編集発行人／宮川 俊介 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17 (日本基礎技術株式会社内) TEL (03) 3476-5721 FAX (03) 5489-7821
 [ホームページURL] <http://www7.ocn.ne.jp/~rta/>

年頭にあたって

岩盤削孔技術協会会長

見波 潔



あけましておめでとうございます。平成21年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、皆様には平素より当協会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年から、金融危機、世界同時不況、雇用不安などが連鎖して未曾有の厳しい社会経済状況となり、この協会ニュースが皆様のお手元に届く頃にはどのような状況になっているのか想像もできません。建設投資が長期低落傾向にある中での急激な不況の到来ということで、会員各位におかれましても厳しい状況にあると推察しますが、何としても乗り切っていきたいものです。

様々な緊急経済対策や雇用対策等が行われようとしていますが、真に必要な公共事業をこの時期だからこそ前倒ししてでも集中的に実施するべきである、との声も上がるようになってきました。公共事業の経済波及効果や雇用安定効果を改めて評価するとともに、将来に必要な資産を早期にきちんと整備しておくことの意味を考える時期だと思

ます。

さて、公共事業のあり方論はさておき、私たちが関係している大口径岩盤削孔技術が必要となくなることはありません。どこかで必ず必要とされる技術であり、高い専門性を必要としていることは言うまでもありません。協会としましては、この大口径岩盤削孔技術をさらに磨き、技術を継承・普及させ、信頼性の高い工事を実施することで顧客の期待に応えなければなりません。皆様のご理解、ご努力を引き続きお願い申し上げます。

協会では、発注者、設計者、施工者からの様々な技術的問い合わせや要請に対応すべく、会員各位のご協力を得て日々技術の研鑽に努めており、平成20年度の事業として「リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料(平成20年度版)」および「大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料(第6版)」を発行いたしました。合わせて、(社)日本建設機械化協会主催の「橋梁架設・大口径岩盤削孔の施工技術と積算及び建設機械等損料」講習会に講師を派遣し、大口径岩盤削孔の施工技術と積算について広く普及に努めました。

平成21年度の事業としましては「ケーシング回転掘削工法カッタービット損耗量調査報告書」「会員施工会社施工実績調査表(平成20年4月～平成21年3月)」を発行して参ります。また、引き続き「協会ニュース」を発行し、会員相互の情報交換に役立てたいと考えております。

技術を大切にする会員の皆様とともに大口径岩盤削孔技術を育て、発展させて行きたいと考えております。本年が皆様にとって実り多い年になりますことを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

委員会活動報告

1. 運営委員会 3回
(平成20年5月15日～平成20年10月16日)
- ① 平成19年4月から平成20年3月までの4工法施工実績表の作成・発行
- ② 協会ニュースの審議
- ③ ホームページの審議
- ④ 総会開催、運営
- ⑤ 予算の審議
2. 協会ニュース編集分科会 2回
(平成20年5月15日～平成20年10月16日)
3. リーダ式ケーシング回転掘削工法分科会 2回
(平成20年5月15日～平成20年10月16日)
4. 大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料改訂分科会 2回
(平成20年5月15日～平成20年10月16日)
5. ホームページ分科会 2回
(平成20年5月15日～平成20年10月16日)

成果品

1. 平成19年4月から平成20年3月までの4工法施工実績調査表の発行

2. ケーシング回転掘削工法カッタービット損耗量調査(その2)中間報告書
3. リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料(平成20年度版)発行

広報活動

1. 協会ニュース 1回:第27号
2. ホームページ改訂(平成20年10月31日)

対外活動

1. (社)日本建設機械化協会技術委員会参加 4回
(平成20年5月12日～平成20年10月10日)
2. (社)日本建設機械化協会主催 講習会「大口径岩盤削孔の施工技術と積算」
(平成20年6月10日から平成20年7月8日まで 仙台、東京、名古屋、高松、広島、福岡、新潟、大阪)で当協会派遣講師により、大口径岩盤削孔施工技術の普及を行った。
3. 運営委員が中心となって、関係官公庁・コンサルタントなどへのPRを行った。